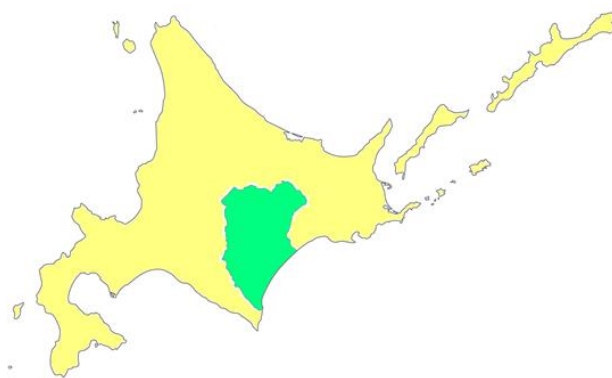


と か ち 経 済 情 報

令 和 7 年 4 月 ～ 6 月



財務省 北海道財務局 帯広財務事務所

【利用上の注意】

・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。

【問い合わせ先】

財務省 北海道財務局
帯広財務事務所 財務課
〒080-0015
帯広市西5条南8丁目
帯広第2地方合同庁舎
TEL 0155 (25) 6381

と か ち 経 済 の 概 況

住宅建設は前年を大幅に下回っている。一方で、個人消費、観光は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しており、公共工事は前年を上回っていることに加え、生乳生産は前年を大幅に上回っている。

このように管内経済は、**持ち直しつつある**。

項目	前回(令和7年1月～3月)	今回(令和7年4月～6月)	前回比較
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
1. 個人消費	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	
2. 観光	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
3. 雇用情勢	有効求人倍率は前年並み	有効求人倍率は前年並み	
4. 生乳生産	前年同期を上回る	前年同期を大幅に上回る	
5. 公共事業	前年度累計を上回る	前年度累計を上回る	
6. 住宅建設	前年同期を上回る	前年同期を大幅に下回る	

先行き	雇用・所得環境が改善する下で、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇、米国の通商政策の動向に十分注意する必要がある。
-----	--

【参考】

項目	前回(令和7年1月～3月)	今回(令和7年4月～6月)
企業倒産	前年同期を上回る	負債総額は前年同期を下回る
金融	貸出金残高は前年を上回る	貸出金残高は前年を上回る

1. 個人消費

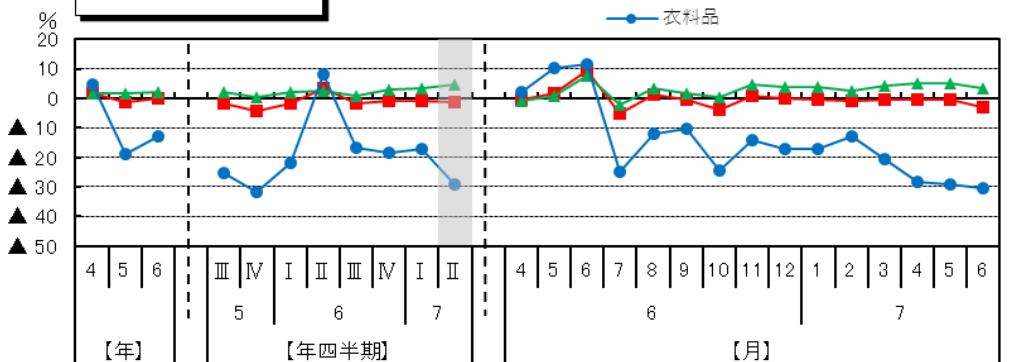
一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している

主要小売店売上高は、飲食料品は前年を上回っているものの、衣料品が前年を大幅に下回っていることから、全体では前年同期を下回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を下回っている。

このように、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

主要小売店売上高

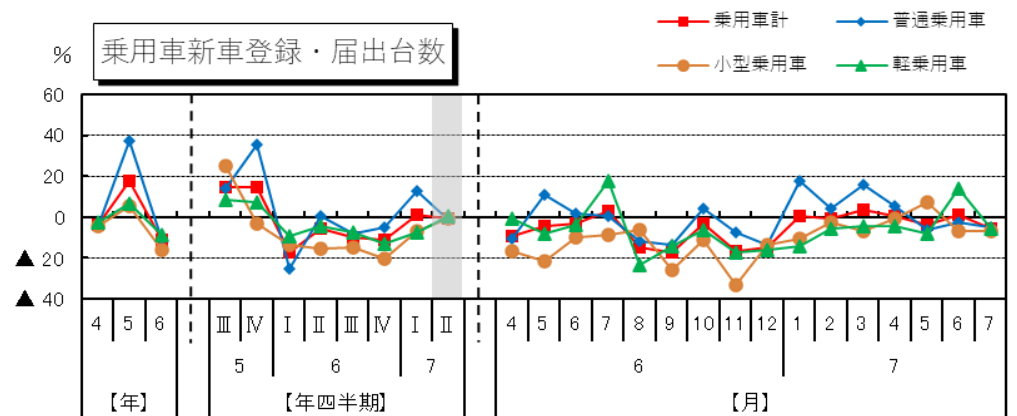


<資料：管内主要小売店>

〔4-6月前年同期比〕

主要小売店計 ▲1.4% 飲食料品 +4.5% 衣料品 ▲29.2%

乗用車新車登録・届出台数



<資料：帯広自動車販売店協会>

〔4-6月前年同期比〕

乗用車計 ▲0.7% 普通乗用車 ▲1.6% 小型乗用車 ▲0.8%

軽乗用車 +0.4%

〔企業・団体の生の声〕

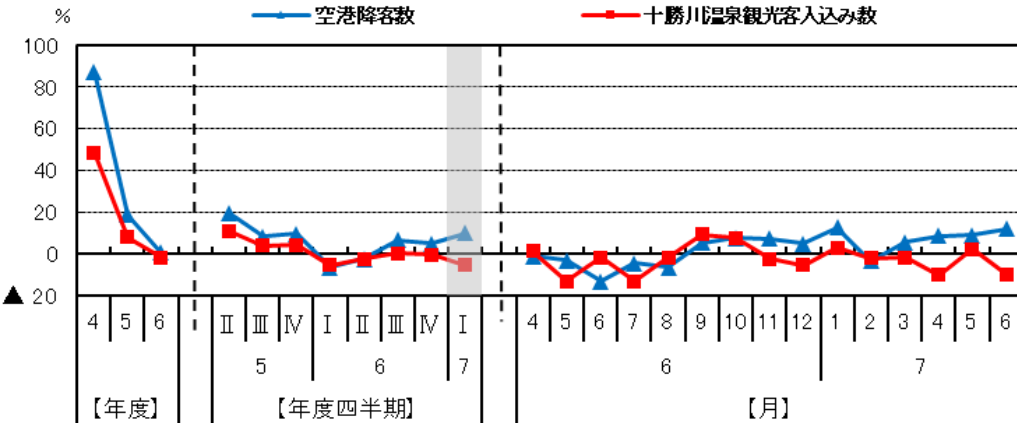
- 物価高により節約志向が強まっており、広告に掲載されている特売品を中心に複数店で購入するなど、安いものが選ばれている。
- 今年はGWの天候が悪くBBQ関連売上が伸びなかった。また、近年は小中学校の運動会も午前のみ開催となるなど、お弁当需要も減少している。
- 管内のエアコン普及率も年々高まっているが、2台目需要も増加してきている。
- 光熱費を抑えるため省エネ性能の高い大型冷蔵庫、洗濯機などの家電の売れ行きが好調に推移した。
- 登録が進んでいないが、これは管内にメーカーから車が来ないためである。取れた受注は受注残となっている。車種によっては、納期の長期化を理由として、受注を断る場合もある。
- 管内にメーカーから車がきていないため、目当ての車種を手に入れようとユーザーが動き、中古車市場がよくなってきている。

2. 観 光

緩やかに持ち直している

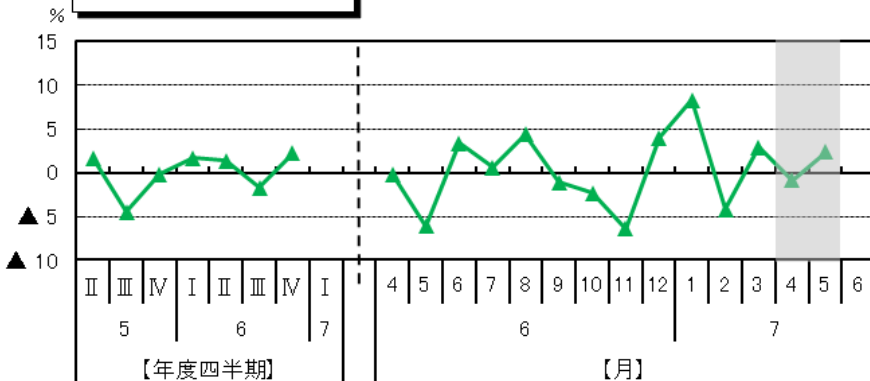
十勝川温泉観光客入込み数は前年を下回っているものの、空港降客数、市内ホテル宿泊客数は前年を上回っており、緩やかに持ち直している。

空港降客数及び十勝川温泉観光客入込み数



< 資料：北海道エアポート(株) 帯広空港事務所、音更町（主要旅館5社） >

市内ホテル宿泊客数



< 資料：日本銀行釧路支店帯広事務所 >

〔4-6月前年同期比〕

空港降客数 +10.1% 十勝川温泉観光客入込み数 ▲5.5%
 市内ホテル宿泊客数 (4月前年比) ▲0.9% (5月前年比) +2.4%

〔企業・団体の生の声〕

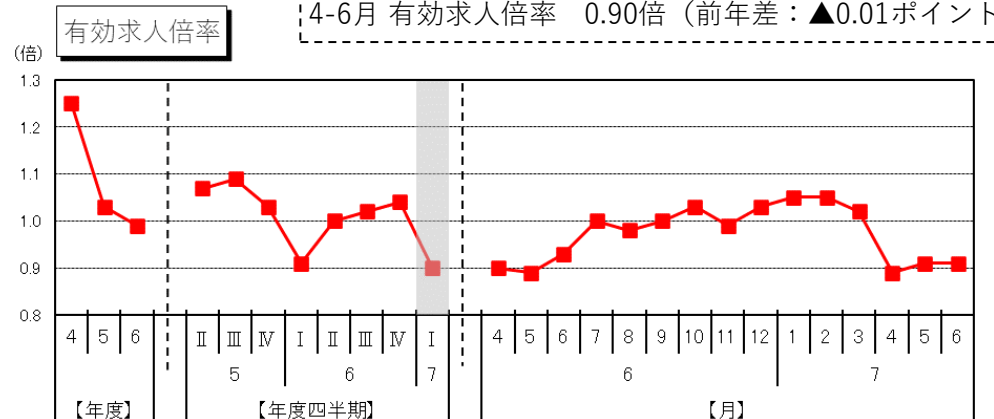
- 帯広空港の降客数はGWの日程が悪く、GW単体でみると昨年より動きは鈍かったものの、在来線の需要増加によって国内利用者が増加しているため、前年を上回った。帯広-清州(韓国)間の海外定期便の運航が始まったことによるプラスの効果もある。
- 宿泊単価が上昇傾向にあるため、国内客の動きが鈍くなっている。
- GWの客数は前年並みであった。道内客が減少し、道外客が主な利用層であった。富裕層が旅行先の選択肢として、円安を理由に海外を外したため、北海道を訪れる者が増加したのではないかとみている。
- インバウンドが多い傾向は続いているが「7/5に日本で大地震がある」という予言が香港・台湾など東・東南アジアで流行していたため、該当地域からのツアーが入らず、個人客が主になっていた。
- 帯広-清州(韓国)の定期便によって市内で韓国人をみる機会が増えている。市内ホテルの利用にもつながっているとみている。

3. 雇用情勢

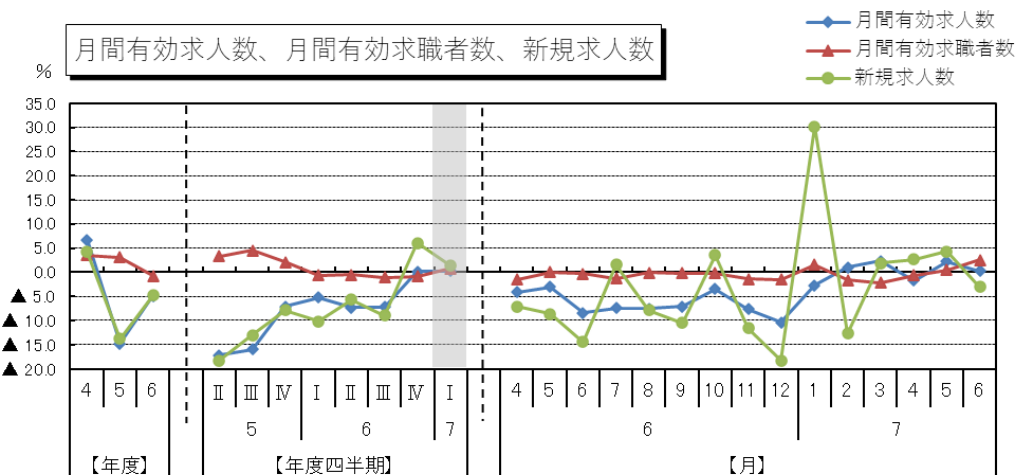
有効求人倍率は前年並み

雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求職者数は前年を上回ったものの、月間有効求人数が前年並みとなったことから、有効求人倍率は前年並みとなっている。
新規求人数は、前年を上回っている。

4-6月 有効求人倍率 0.90倍（前年差：▲0.01ポイント）



月間有効求人数、月間有効求職者数、新規求人数



<資料：帯広公共職業安定所>

〔4-6月前年同期比〕

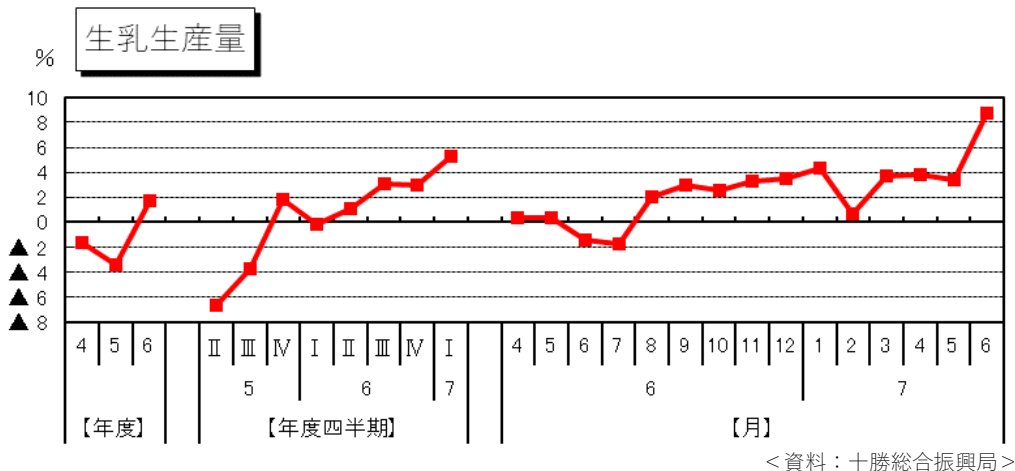
月間有効求人数 +0.2% 月間有効求職者数 +0.8%
新規求人数 +1.3%

〔企業・団体の生の声〕

- 企業によって強弱は異なるが、全体として人手不足の状況である。
- 真に必要な人数だけを求める傾向にあり、一つの会社が募集する人数が減少傾向にある。
- 求人を出しても以前より採用に苦戦するようになっている。2ヵ月あれば採用につながるが多かったが、最近は2ヵ月で採用となることは少ない。
- 表に立つ仕事より、事務・清掃など裏方的な仕事の方が人は集まりやすい。
- 人員不足は深刻で一部外国人労働者も利用しているが技能者が不足している。
- 求人を常に出しているが、人が集まらない。千歳方面への就職も増えており新卒の採用は厳しい。
- スキルが求められない業務については、隙間バイトアプリなどを利用している。

4. 生乳生産 前年同期を大幅に上回る

生乳生産量は、前年同期を大幅に上回っている。



〔4-6月前年同期比〕

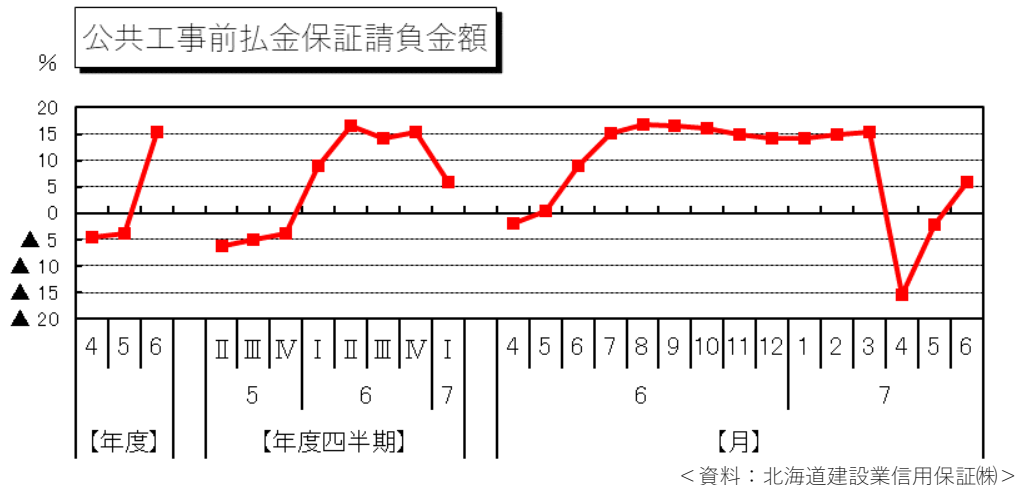
生乳生産量 +5.3%

〔企業・団体の生の声〕

- 昨年は一昨年の猛暑によって分娩時期が遅れたため生産量が伸びなかった。今年はその反動増となっている。
- 6月の生産量は前年比で増加となっているものの、平均気温が例年よりも4~5℃高かったため、6月上旬、中旬、下旬に分けてみると、生乳生産量が漸減している。

5. 公共事業 前年度累計を上回る

公共事業を前払金保証請負金額でみると、農業基盤で増加したことから、前年度累計を上回っている。



〔6月末前年度累計比〕

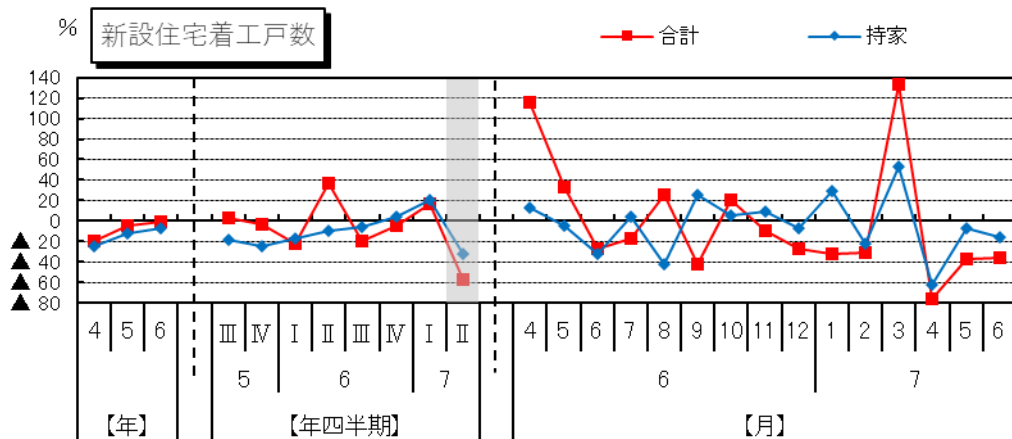
前払金保証請負金額 +5.8%

〔企業・団体の生の声〕

- 管内の予算は毎年数%ずつ増加しているが、資材価格や人件費の上昇が大きいため工事件数は減少している。
- 今後についても管内では大型工事の計画はあり、引き続き安定した請負額を維持するのではと考えている。

6. 住宅建設 前年同期を大幅に下回る

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、持家は前年同期を下回っており、貸家は前年同期を大幅に下回っている。



〔4-6月前年同期比〕

合計 ▲57.8% 持家 ▲32.2%

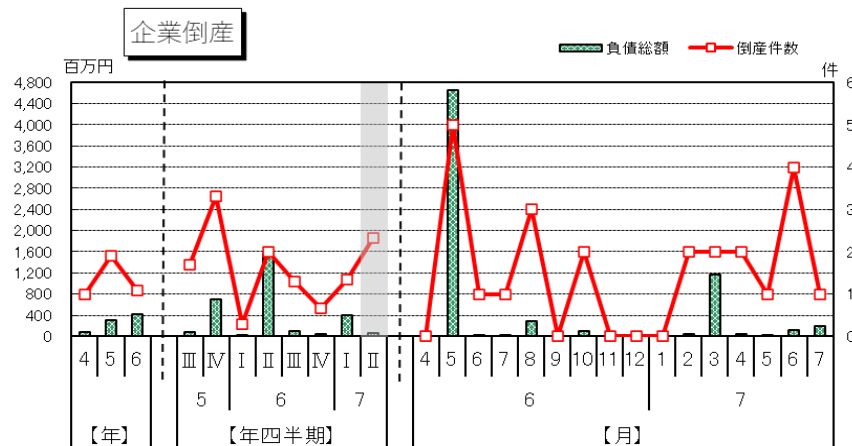
〔企業・団体の生の声〕

- 建築基準法改正により4月の着工件数は大幅減少。年間を通して10%以上は減少すると予想している。
- 一方で法改正の影響が少ない平屋建ての人気の高まっている。

<資料：国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

(参考) 企業倒産 負債総額は前年同期を下回る

企業倒産は、件数は前年同期を上回っているものの、負債総額は前年同期を下回っている。



(注) 年、四半期は月平均。

<資料：(株)東京商工リサーチ>

〔4-6月 月平均〕

負債総額 60.0百万円

倒産件数 2.3件

〔4-6月 月平均前年同期差〕

負債総額 ▲1,493.7百万円

倒産件数 +0.3件

(参考) **金 融** 貸出金残高は前年を上回る

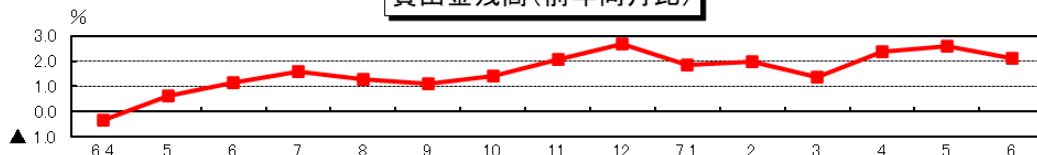
金融機関の貸出金残高（銀行・信用金庫・信用組合ベース）をみると、事業者向け、個人向けともに前年を上回っている。

(単位:百万円、%)

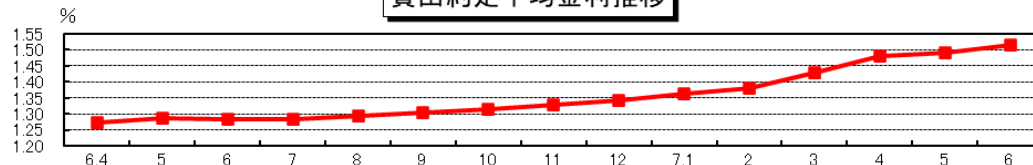
年 月	貸出金 残高	前年比	事業者向け貸出				個人	前年比	地方公共 団体	
			前年比	設備	前年比	運転			前年比	前年比
4. 6 末	832,958	1.2	481,517 ▲ 0.2	193,347	1.6	288,170 ▲ 1.4	274,230	3.5	77,208	1.9
5. 6 末	845,040	1.5	491,027	202,144	4.5	288,883	281,221	2.5	72,787 ▲ 5.7	
6. 6 末	854,731	1.1	494,440	211,713	4.7	282,727 ▲ 2.1	287,974	2.4	72,310 ▲ 0.7	
7. 1 末	890,318	1.9	525,444	212,900	1.8	312,544	290,134	1.8	74,737	5.5
2 末	889,320	2.0	522,482	212,873	1.7	309,609	290,655	1.8	76,178	4.1
3 末	882,632	1.4	511,870	213,319	1.0	298,551	292,067	1.7	78,693	3.7
4 末	868,308	2.4	502,722	213,461	1.5	289,261	291,479	1.5	74,100	6.1
5 末	869,890	2.6	501,201	213,471	1.5	287,730	291,837	1.3	76,847	4.7
6 末	872,880	2.1	504,373	214,663	1.4	289,710	291,233	1.1	77,269	6.9

年 月	預金 残高	前年比	要求払		定期性		貸出約定 平均金利
			前年比	前年比	前年比	前年比	
4. 6 末	1,709,967	2.8	1,184,182	5.0	522,949 ▲ 1.7		1.244
5. 6 末	1,725,120	0.9	1,214,757	2.6	507,667 ▲ 2.9		1.252
6. 6 末	1,748,605	1.4	1,256,714	3.5	489,831 ▲ 3.5		1.283
7. 1 末	1,713,899	0.2	1,231,842	1.5	479,657 ▲ 2.9		1.363
2 末	1,715,578	0.6	1,239,472	2.2	473,699 ▲ 3.4		1.382
3 末	1,699,598 ▲ 0.5		1,229,517 ▲ 0.0		467,665 ▲ 1.7		1.428
4 末	1,738,791	0.2	1,263,594	1.4	472,743 ▲ 2.9		1.480
5 末	1,721,468	0.4	1,244,584	1.8	474,621 ▲ 3.1		1.491
6 末	1,738,390 ▲ 0.6		1,256,719	0.0	479,429 ▲ 2.1		1.514

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注)「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。